

組合支援 ウォッチ

最先端の技術を学ぶ！ ～自動車整備研修会開催～

自動車の修理は、板金して、形が元に戻ればいいというわけではない！
自動車の技術が目まぐるしく進化し、自動車車体整備を取り巻く環境が著しく変化している現在、
中小整備工場も共に進化していかなければなりません。
北九州自動車車体整備協同組合では最新の整備技術を学ぶために研修会を開催しました。

近年、ABS (Anti-lock Brake System：被害軽減ブレーキ) や横滑り防止装置等の予防安全装置の採用や、EV (Electric Vehicle：電気自動車)、HEV (Hybrid Electric Vehicle:ハイブリッド車) やアイドリングストップ等の環境・省エネのための装備など、自動車への新技術の採用には目覚ましいものがあります。

また、安全性能を確保したまま省エネを実現するため、車のボディーも進化し、超高張力鋼板等の材料が主要骨格に採用され、これに対応したスポット溶接機や材料の特性に配慮した接合方法が必要となるなど、車体整備を取り巻く環境は、著しい変化を遂げています。

このような現状に適切に対応するためには、これを修理する工場も共に進化しなければなりません。そこで当組合では、車体整備の高度化に向けた研修会を開催することとし、本会もこれを支援しました。

開催にあたっては、朝日自動車株式会社（藤野利浩社長、福岡市博多区西月隈）の協力を得ました。朝日自動車は2014年8月、株式会社エムエスジャパンサービス（マルコ・スタチオーリ社長、

埼玉県川口市）と業務提携し、同社内に「MSJアカデミー九州」を開設し、最新の自動車整備技術を学ぶ研修施設を運営しています。

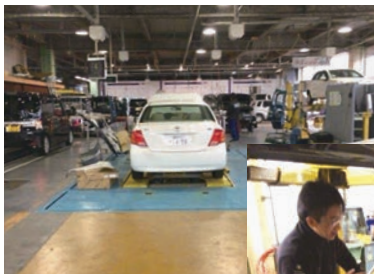
研修当日は、MSJジャパンの技術専門スタッフから、トヨタ・ヴォクシーや日産・スカイラインなど最新車両の超高張力鋼板の溶接条件や整備条件、カーメーカーの溶接基準に対応したスポット溶接機、半自動溶接機の扱いなどを学びました。

この研修会を開催したことにより、参加した各整備工場は、最新型自動車の構造、カーメーカーの技術水準、素材の進化、整備における注意点等多岐にわたり学ぶことができ、これまで以上に信頼される自動車整備作業に取り組み決意を新たにしました。

組合では今後も定期的にこのような最新技術を学ぶ研修会を開催していく予定です。



実際に手を動かしての実習



最新設備を備えた
工場兼研修所



パソコンを使って数値を確認する

組合プロフィール

組 合 名：北九州自動車車体整備協同組合
理 事 長：松本信義
組 合 員 数：67名
住 所：北九州市小倉北区真鶴二丁目7番13号
T E L：093-591-3384
F A X：093-591-3385